



▲日本一蒲生の大楠 まけないぞ（蒲生小1年生）

かごしま あいら 市議会だより

No.2

平成22年10月31日発行

市民の声

一般質問

市政を問う
22人

20

8

観光バスの運行試験

4

医療費が無料

小学校卒業まで

3

費が無料に

小学校卒業まで

総合計画審議会条例制定

30人以内の委員で構成



▲医療費助成が6年生まで拡大、がんばってね
(元気に登校する加治木小学校生)

9月議会は、9月7日から30日までの24日間の会期で開きました。

条例制定や一部改正のほか、補正予算・人事案件・陳情・請願などの議案を審査しました。6月議会でも出されていた陳情1件を継続審査とし、残りのすべての議案を可決・採択しました。

始良市総合計画 審議会条例(要旨)

- ① 始良市の総合的かつ計画的な行政運営の計画に関する事項について調査審議し、その結果を答申する。
- ② 審議会は、30人以内の委員で組織する。市議会議員、公共的団体等の代表者、学識経験者等。
- ③ 委員の任期は2年とする。
- ④ 会議は、委員の2分の1以上が出席しなければこれを開けない。

陳情3件・請願1件 発議2件を採択

(要旨は6〜7ページに掲載)

22人が一般質問

市長の補正予算説明や提案を受け、また身近な課題等を捉え、市長の考えをいただきました。

(要旨は8〜18ページに掲載)



▲議案を説明する笹山市長

医療

一般会計補正予算
3億9,655万円増額
総額 **268億5,498万円**

一般会計補正予算は、3億9,655万2千円を追加して、歳入歳出予算の総額は、268億5,498万5千円になります。今回の補正の特色として、市民の暮らしに関係する事業等では、乳幼児医療費助成です。（詳細別）

宮島西公園のトイレも水洗化され、三船小学校の耐震工事も施工されました。また、災害等による傷病者の搬送を適切に行うため、高規格救急自動車購入費が計上されました。観光面では、金山橋や蒲生交流センター近くの古民家を整備して、簡単な飲食等を提供します。始良市内を巡る観光バス運行試験委託も計上され、新幹線開通後の観光客獲得が課題となります。

条例 一部改正

乳幼児医療費 一部助成を全額無料

これまで乳幼児の養育する家庭の経済的負担を軽くするとともに、健康保持と福祉の増進を図るため、6歳までの医療費の自己負担額の一部を助成していました。

今回、これを子どもの健康を更に保持増進するため、小学6年生まで保険診療にかかる医療費の全額を無料にします。施行日は23年1月1日です。

対象者9,000人、年間医療費 約1億9千万円

助成金が振り込まれるのは、2か月後になり、今回の補正は23年1月分の不足額2千5百万円です。

また、助成対象は「小学校就学前」から「小学校修了まで」に改正されます。

なお、対象者は、おおむね9千人です。助成費は、これまで年間6千万円でしたが、今後は、1億9千万円が見込まれます。



▲蒲生交流センター近くの古民家



▲市内観光巡りのひとつ蒲生の大クス

市観光バス運行試験事業

975万円

質疑 事業の内容を説明せよ。

答弁 市の観光振興のため、市内のバス業者や大手のバス会社にアイデアを含む運営方法を提案してもらい、試験運行をして今後事業として成り立つかを実験していく事業です。

重富・帖佐・加治木の各駅を起点とした始良市内の観光地を巡るコースや、まち歩きコース、買い物を楽しむコース等7つのコースを予定しています。



▲石畳のきれいな橋になります

龍門滝周辺景観の整備

3471万円

質疑 目的と場所、工事の内容は。

答弁 市内の有力な観光資源である龍門滝周辺一帯の整備として、島津家由来の石橋「金山橋」の景観工事をします。

現在のガードレールを取り除き欄干部分を改修し、橋の中央を通っている水道管はそのまま、石畳を敷く工事です。

補正

暮らしやすいまちづくり

県内で一番暮らしやすいまち「始良市」をめざし、補正予算の中から身近な事業をピックアップしてみました。

PFI方式の調査業務を委託

1050万円

質疑 施設整備3か所（斎場・小学校・消防署）の可能性を計るための調査業務委託の内容を具体的に示せ。

答弁 今後の公共事業の進め方で、PFIの資金の活用ができないか基本構想・基本計画を作ってもらい、PFIの事業を導入した可能性調査を行うって報告書を作成します。

反対意見 PFI方式の調査委託料は、採用された場合地方の企業が参入しにくくなる。

また、返済に10〜30年かかるので財政の硬直化が起こる。

※PFIとは、公共機関が直接施設を整備せずに、民間資金を利用して民間に施設整備と公共サービスの提供をゆだねる手法。



▲建て替えが待たれる消防署

三船小耐震工事 450万円

質疑 平成20年度に耐震診断を行い補強工事に着手したのではないのか。なぜ、450万円の補正予算が発生するのか。

答弁 耐震診断を基に進めていた校舎の補強工事で、既存の柱等のコンクリート強度にかかわる骨組み部分の状態が劣悪であることが判明しました。今実施中の補強工事5か所について柱等の増強を行う工事費200万円

と、改めて耐震診断を行い、耐震補強計画を再策定するための経費250万円です。

質疑 なぜ同じ業者に診断を委託するのか。

答弁 新しい業者だと、全ての項目を診断し直すことになるが、同じ業者に委託することで診断項目を減らすことができ経費の削減になる。



▲劣化が発見された三船小学校舎

高規格救急自動車

2919万円



▲中央署へ配備となり機動力発揮

質疑 前回の購入より、220万円程度高いが、その違いは。

答弁 最新の装備を載せています。特に心肺停止時に使う喉頭鏡という装備が高価になります。

質疑 蒲生には配備しないのか。その見直しは。

答弁 現在、中央消防署に1台、始良分遣所に1台です。今回で中央署は2台になります。蒲生に配備する場合は、救急救命士の養成と新たな予算措置が必要です。

図書購入費

500万円

質疑 今回の補正では、中央図書館のみであるが加治木と蒲生の図書館分については必要はないか。

答弁 本年度当初予算で中央図書館600万円、加治木図書館350万円、蒲生図書館50万円を計上しており、今回は中央図書館のみです。2500冊を予定しています。

人口に対する公共図書館の望ましい蔵書基準によると、始良市の場合3施設で21万5000冊となりますが、現在は約20000冊不足しています。

宮島西公園トイレ

2000万円

質疑 設備の概要を示せ。

答弁 都市公園のトイレ整備経費で、障害をもつ方も使えるトイレも備

えます。広さは約30㎡程度です。

新しいトイレが完成してから、現在のトイレを解体します。



▲きれいな水洗トイレになります

請願と陳情

採
択

350万人のウイルス性肝炎患者の救済に関する意見書採択の陳情

陳情提出者 松 元 和 典

公共交通機関の存続へ鉄道を中心とした総合的な交通体系の構築を求める請願

請願提出者 徳 田 哲 也
紹介議員 上 村 親

我が国には、B型・C型の肝炎感染者・患者が350万人（鹿児島県には2万数千人）いると言われています。

「薬害肝炎救済特別措置法」による救済枠を拡大して、肝炎対策基本法に基づいて、全てのウイルス性肝炎患者の救済を図るよう、国会と政府に意見書を提出していただくことを陳情します。



▲公共交通機関を利用しよう



▲健康はみんなのねがい

高速度道路無料化などで影響を受けるJR・バス・フェリーなどの公共交通機関は、地球温暖化防止などに大きな役割を果たしている。

公共交通機関の安定的な運営を維持・存続するため、減収補填を含む事業者の厳しい現状を踏まえた公的支援策を講じるよう、来年度の予算編成に向けて、国への意見書を提出していただくことを要請します。

意見書

議会は、陳情・請願の主旨に沿った意見書を内閣総理大臣ほか関係各大臣に提出しました。

人権擁護 委員を推薦

任期は3年です。



錦 京子 氏
(71歳・上久徳)

建築設計業務発注に ついての請願書

請願提出者 中西 廣三
紹介議員 法元 隆男



▲地元業者に指名を

地方分権が叫ばれる今、税制面から見た経済政策は、地方のことは地方で、地元のことは地元でという循環還元型税制が基本です。近隣の市では、以前から地元優先を徹底しています。始良市発注の建築関係建設コンサルタント業務は、規模にかかわらず始良市内の設計事務所を指名して頂くよう請願します。

都市景観の骨格を成す街路樹・公園樹の健全育成を求める請願書

請願提出者 村田 稔
紹介議員 法元 隆男

街路樹・公園樹を質の高い緑化樹にするため、樹木の特性を熟知して剪定等の高度な技術を有する「街路樹剪定士」が認定されています。樹木の診断から剪定まで、一連の作業を総合的に行うことができる街路樹剪定士による街路樹・公園樹の健全育成が図られるよう請願します。



▲緑あふれる心地よい街づくり

◎自主共済制度の保険業法適用除外を求める意見書提出を求める陳情書

継続審査

議会発議

「非核・平和都市宣言」を決議

核兵器の存在によって、この地球と人類は、常に滅亡の危機にさらされている。二度と戦争の悲劇を繰り返してはならない。

核兵器廃絶と恒久平和の確立は、唯一被爆国の我が国にとって悲願であり、人類共通の願いである。

この美しい地球とそこに存在するもの全てを守り後世に伝える為に、我々は我が日本国憲法の世界平和を希求する理念と非核三原則を遵守し、反核の先頭に立ち、核兵器廃絶と恒久平和の実現を国内外に強く訴えらるとともに、その輪をさらに広げ、ここに始良市を平和を尊び、平和を育む「非核・平和都市」とすることを宣言する。

平成22年9月30日

鹿児島県始良市議会



▲平和を尊びこの笑顔をいつまでも

安全対策

通学道路

市長／改良工事を進める



萩原哲郎議員

萩原 通学道路「始良二ニュータウン入口から高速までの区間・希望ヶ丘団地と高速までの側溝・通学路の草払い」は、事故の起きる前に安全対策を取る考えはないか。
市長 スピード落とせの路面表示や路肩の傾斜を水平にする工事、草刈りなどを行い、交通安全対策



▲通学路の整備を望む

策を行っている。
交通事故防止のため、歩道の整備や路肩の段差解消、道路側溝改良は、工事を進めていく。

今後、始良二ニュータウンも、中山間地域と同様に人口増を図る対策や、高齢者支援の考え方も積極的に検討する。

大型団地の福祉・人口減対策

市長／積極的に検討

萩原 始良二ニュータウンは、32年を迎え団地住民も急激に高齢化し、最盛期456人いた児童も現在262人に減少している。

今後、どのような対策を考えているのか。

市長 商店や金融機関の設置要望、利用者数や防犯上の問題で経営見通しが立たないと理由から誘致に至っていない。

その他の質問
○野良猫対策
○口蹄疫のため中止となったイベント・海水浴場

治水対策

一時貯留タンクへ補助

市長／調査研究する



神村次郎議員

市長 排水対策の必要な箇所は、加治木5地区、始良13地区あり今後事業促進を図る。
雨水の流出抑制に一定の効果があある一時貯留タンクについては調査研究する。

成果を上げてきた。竜門小学校に支援学級の設置はできないか。
教育長 市の就学指導委員会で、「支援が望ましいと判断される児童が原則2人以上いること」としている。
竜門小については、来年度希望者が1人いるので、市の就学指導員の判断を得て教室の確保をし、県へ開設申請をする。

支援学級の設置

教育長／就学指導委員会の判断

神村 特別支援教育については19年度施行されているから、取り組みがなされ

その他の質問
○学校に空調機器設置
○教育費の保護者負担の軽減
○中央弓道場の整備
○加治木地区図書館整備

22人が 問う



▲一時貯留に効果がある雨水タンク

環境整備

草払い不十分

市長／本年遅れた地域がある



出水昭彦議員

出水 市道の路側や公園など他の公共施設の周辺で、草払いが不十分で一部ゴミの不法投棄が発生している。対応を問う。
市長 本年度の市道や公園の草払いは旧3町でそれぞれ策定された年次計画に基づき行っている。本年は時期的に少々遅れた地域がある。今後市道や公園のメンテナンスを行い、草払いや除草、道路の維持管理に努め景観の保全を図る。

紫外線(UV)対策

教育長／個別に対応

出水 幼保小中学校で紫外線防止策は、どのような取り組みをしているか。また、プールに屋根を設置できないか。

教育長 日焼け止めクリームの使用は、保護者の申し出により、「無臭・

無香料のもの」を条件として、個別に対応している。

プールの屋根の設置は大きな財源(1面当り1600万円〜2000万円)が必要であり、現段階では考えていない。



▲草払いが待たれる公園

一般質問

市政を

観光 市内巡りのバス対策

市長／試験的に始める



桃木野幸一議員

桃木野 循環バス・新幹線全線開通後の市内巡りのバス対策は。また、龍門司坂は苔があつて滑りやすく、さえずりの森は利用者が少ない。対策を問う。

市長 循環バスは、旧3町間を結ぶ新たな路線を検討中であり、現在、バスに職員が乗り込み、聞き取り調査中。

観光バスは、市内の観光拠点を巡るコースを試験的に始めることとする。龍門司坂は、杖やわらじ等を置く。また、龍門滝から龍門司坂に通じる遊歩道を整備し金山橋も整備して、龍門滝から龍門司坂・さえずりの森・陶夢ランド・金山橋を巡り龍門滝温泉

へと周遊できるルートが出来上がることとなり、一層の観光客等の誘致が可能になると考える。

宅地分譲

市長／分譲予定

桃木野 将来的に始良市の人口をどの程度想定しているか。県や市の公社による宅地分譲の考えはないか。

市長 10万人都市を目指す。

宅地分譲は、帖佐第一地区で63区画を販売中であり、ほ場整備事業により、船津・春花・木田地区でそれぞれ14ヘクタールの宅地創出を行い、一地区約40区画を分譲する予定である。



▲すばらしい苔だが、すべりやすい龍門司坂

施設整備

プールに 地下水の利用を

教育長／比較検討する



東馬場 弘議員

東馬場 柁城小のプールは、循環設備のない古いプールである。衛生面等を考慮し、地下水の利用はできないか。
教育長 循環器の設置や地下水利用など、今後、比較検討したい。



▲プールクリーナーの設置を望む柁城小学校

東馬場 プールの掃除には、大変な労力と時間が掛かる、プールクリーナーの設置はできないか。
教育長 数校に一台程度の整備を検討していきたい。

東馬場 普通教室、管理諸室にクーラー設置を。
教育長 安全安心な学習環境保持の整備を優先するため、財政状況から空調設備の整備まで至っていない。

東馬場 建昌小学校からの分離新設の計画の進捗状況を問う。
教育長 新市小中学校審議会で審議していただいて今後、学校の規模等を勘案し、予算等について精査していく。

- 休校中の大山小、新留小の活用
- 別府川の架橋

その他の質問

国保税

値下げせよ

市長／法定外繰入は難しい



里山和子議員

里山 高すぎる国保税は市民生活に重くのしかかり、家計を圧迫している。全国的にも一般会計から繰入（法定外）を増やしており、各市町村の全国平均は1人あたり1万円を超えている。始良市でも一般会計から繰入し値下げしたらどうか。



▲クーラーが欲しい働く女性の家

市長 現在の一般会計の厳しい財政状況では、国保会計への法定外繰入は難しい状況である。

クーラーの設置や改修 市長／公的施設は検討

里山 学校に扇風機はついているが、中学生にクーラーをつけてと要望された。働く女性の家や、重富出張所、山田出張所のクーラー設置が不十分。また、旧堂山小跡地の畳替えが必要ではないか。

市長 今後、各施設の空調機器設置については、優先順位を判断し検討していく。学校のクーラーについては財源的に厳しい。
旧堂山小跡地については、施設の改修も含め、畳替えも検討する。

その他の質問

- 地上デジタル放送完全移行対策
- アイルアイラの今後の方向性



▲運動会も地域コミュニティづくりの場

地域担当職員

制度導入で活動促進

市長／自治組織と協議調整



湯川逸郎議員

湯川 地域担当職員制度の導入を図り、地域活動への参加促進は考えないか。
市長 市民と行政の新たなパートナーシップを構築する手段として有効な

制度であり、地域力の向上、市民と行政の協働の推進につながると考える。住民自治組織である自治会長や地区公民館長との協議・調整も必要であり、職員の地域活動への参加については、意識と関心を高めていく。

災害弱者のデータ把握

市長／地図情報で避難救助活動

湯川 災害時に避難や手助けが必要な高齢者・障害者等の災害弱者のデー

タ把握は整えてあるか。
市長 民生委員や自治会長に依頼して把握を行い、台帳作成が完了している。今後、情報の更新を図り、地図情報への落とし込みなど、情報の高度利用を図って、安全・安心で迅速な避難救助活動に努める。

その他の質問

- 商店街の空き店舗の活用
- 商工会の福祉事業

企業育成

力を注げ

市長／努力していく



森川和美議員

森川 本社機能のない市内企業においては、本社等を訪問し、事業拡張などの要請及び情報収集、また市外流出の防止に力を注ぐべきではないか。
市長 始良市内に進出している企業等については、県産業立地課とも連携を

図り、定期的に訪問を行い、今後の動向、雇用の確保をはじめ諸課題等の相談に応じていく。
今後各進出企業の情報収集や、市外への流出防止に努めていく。

運営協議会を設置せよ

市長／設置に向けて取り組む

森川 公共交通機関の利用による移動が困難な方を対象としたNPO等によるボランティア輸送として有償運送に進むために、福祉有償運送運営協

議会を設置すべきだ。
市長 福祉有償運送とは、NPOや社会福祉協議会などの非営利法人が、高齢者や障害者など単独で公共交通機関の利用が困難な方々を対象に、有償で行う事業である。
実施するには、運輸局の登録が必要である。その条件として市町村等で協議会を設置して協議する必要がある、設置に向けて取り組んでいく。



▲福祉有償運送ガイドブック

バイオマス

経緯と取り組み

市長／事業の完結を期待



和田里志議員

和田 バイオマスタウン構想推進の一環として、ビルメン鹿兒島が、竹からバイオ液体燃料を生成する実証プラントを建設したが、その経緯と今後の取り組みについて示せ。市長 本事業は、平成22年度までに液化燃料の完結までするという前提で

進めてきたが、補助金の減額などにより次に踏み出すことが出来ない状況になっている。

九州経済産業局は、巨費を投じた施設をこのまま撤去するには勿体ないので、計画を再度精査し判断したいとの意向で、本市としては、実用プラントの建設につながるよう期待している。

資源物収集体制の一元化
市長／収集体制を検討中

和田 資源物収集体制の一元化については、それ

それぞれの良い点を活かしつつ、市民の意見を反映し高齢者の負担を軽減できるように体制を確立するとした。すでにその体制が変わるような流布があるが、その真意・考え方について問う。

市長 市民の利便性を考慮し、負担を軽減する方策と統一した収集体制の構築に向けた取り組みを進めていきたいと考え、現在、収集体制を検討しているところである。



▲バイオ液体燃料の実証プラント（目木金地区）

警察学校

固定資産税の課税

市長／非課税



田口幸一議員

田口 県警察学校の固定資産税はどうなっているか。

出資者はどこか。市長 県警察学校整備事業は、国土交通省九州地方整備局が発注者となり、平成18年にPFI事業として実施されている。

落札者は、大成建設株式会社を代表者とする大成建設グループで、落札後このグループ企業8社が株主となり、特別目的会社「鹿兒島ポリススクールサービス株式会社」を設立し運営している。PFI手法により建設



▲PFI事業の県警察学校（平松地区）

され、建物は、竣工と同時に県に引き渡されるいわゆるBTO方式のため、県所有の建物であり、非課税である。固定資産の評価はしていない。

その他の質問
○今後の農業
○福ヶ野自治会の学校区と水道

産業振興

生活基盤の確保

市長／雇用創出は積極的に



湯元秀誠議員

湯元 ①若い人たちが若年退職者など、生活基盤をなす働く場の確保が困

- ② 市内の企業間交流の実施
- ③ 産・学・官に市民も参加しうる能力開発センター・産業支援センターの設置
- ④ 新商品開発助成制度の設置など考えないか。

その他の質問 ○環境整備

市長 ①雇用創出の予算を計上したが来年操業予定2社があり、今後も企業誘致、雇用確保に積極的に取り組む。

②企業間交流会は年内に開催予定である。

③能力開発センター・産業支援センターは、中・長期的構想の中で調査検討を重ねていく。

④始良市ならではの特産品開発に、市独自の新商品開発助成制度を検討する。



▲地鎮祭を終えた九州新進(須崎地区)

乳幼児医療

病院窓口の無料化

市長／考えていない



堀 広子議員

堀 始良市の乳幼児医療費助成制度は、小学校卒業までに自己負担なしに大幅拡充された。

医療費助成の方法は病院窓口で2割支払い、2か月後市から窓口負担分を返還される償還払いである。

お金の心配なく子育てできるよう家庭の経済負担軽減、利便性を考慮した窓口負担無料化を実施できないか。

市長 県の補助金交付要綱、事務取扱要綱に準じた助成方法を採用しているため、窓口無料化は考えていない。

大型農機具に助成を

市長／補助金交付要綱に基づき助成

堀 担い手を育て集落営農を発展させるためには

大型機械が必要になる。機械導入に市の助成はできないか。

市長 機械導入による農家の過剰投資を抑制することが重要である。

各種補助事業の活用による導入の検討を行い、市の補助金交付要綱に基づき助成している。

補助率は国50%、市10%である。

その他の質問 ○就学援助



▲望まれる大型機械への補助を

学力調査

結果と傾向

市長／活用する力下回る



河東律子議員

河東 全国学力調査が行われた。結果と傾向はどうだったか。

教育長 小学校国語では、知識は県や国を上回っているが、活用する力がやや下回っている。算数は、知識、活用す



▲意見を出し合って学習する建昌っ子

る力とも下回っている。中学校では、国語、数学とも上回っている。

指導のあり方を教師主導の授業から、子どもたちに考える力を付ける問題解決への授業の充実を図っていく。

高齢者のネットワーク

市長／訪問活動で孤立化防ぐ

河東 高齢者の不明が問題になっている。ネットワークづくりは十分か。

市長 高齢者の状況を把握するため、民生委員、アドバイザー等の情報や相談を受け付けて、社会福祉士等が直接会って状況確認をしている。

今後更に、地域包括支援センターの職員が、訪問活動を積極的に行い、高齢者の孤立化を防ぐネットワークづくりに取り組む。

その他の質問 ○公園遊具の安全管理



竹下日出志議員

ハート・プラス マークの普及

市長／広報誌等で啓発

内部障がい

竹下 心臓や腎臓など体の内部に病気がある、内部障がい者への社会的理解を高めるため、身体内部を意味する「ハート」マークに、思いやりの心を「プラス」した「ハート・プラス」マーク表示を普及する考えはないか。



▲内部障がい者にやさしい市役所トイレ

市長 内部障がい者は、外見からは判りにくいため、日常生活で誤解を受けたり認識されていない。公共施設でのマーク表示や広報誌等で啓発する。

赤ちゃん触れ合い 体験学習

教育長／思いやりの心育む

竹下 小・中学校で子どもたちが赤ちゃんを抱っこしたり、一緒に遊ぶことで、命の大切さを実感する取り組みとして、「赤ちゃん触れ合い授業」を実施する考えはないか。

教育長 子どもたちが赤ちゃんに触れ合い、関わることは思いやりの心や命を大切にする心の育成につながる大切な体験学習と考える。

現在、多くの小・中学校では、近隣の保育所や幼稚園と連携を図り、幼児や園児との触れ合い学習を行っている。

その他の質問 ○校庭の芝生化



▲始良最終処分場（加治木町菖蒲谷）

環境問題

廃棄物の最終処理

市長／適正に処理を行う



玉利道満議員

玉利 安全で安心な生活を持續し「後世に禍根を残すことをしない」ため、廃棄物最終処理の基本的な考えを問う。

市長 ゴミの資源・減量化を促進することを基本とし、当面は旧3町の処理計画を引き継ぐかたちでの処理計画となる。

吉田清掃センター

撤去

市長／多額の経費を要する

玉利 吉田清掃センターの撤去の対応と目木金処分場や類似施設の維持管理は、どのようにされているか。

市長 施設の撤去には多額の経費を要すること、現時点では、跡地利用の具体的な計画はなく、今後財政状況を踏まえながら慎重に対処する。

目木金は水処理施設を稼働させ、水質管理を行っている。

加治木町小山田処分場は適正に閉鎖すべくモニタリング調査をしている。

消防

住宅用火災警報器

市長／設置推進に取り組む



新福愛子議員

新福 法改正による住宅用火災警報器の設置義務期限の23年5月31日が迫ってきた。普及率調査と設置推進に向けた取り組みを問う。

市長 21年10月の調査で54・6%の普及率である。この8月に、始良市住

宅用火災警報器設置推進委員会を立ち上げた。昨年引き続き「命のリレーマラソン」を実施し、設置推進を呼びかけた。

普及率100%を目標に更に設置推進を図りたい。

「市民歌」の制定

市長／市政5周年をめぐに

新福 合併してよかったと市民が実感できるまちづくりのために「市民歌」や「市民体操」の制定の検討はなされていないか。

市長 「市民歌」は、市制発足5周年をめぐに制定作業を進めたい。

「市民体操」は、調査・研究していく。

また、新市誕生1周年の記念式典において「市の花」「市の木」及び「市民憲章」の発表を予定している。

その他の質問

- 児童虐待ゼロを
- 女性の健康支援
- 共生・協働まちづくり



▲目標100% 住宅用火災警報器（命のリレーマラソン）



笹井義一議員

始良市の支援策を示せ

市長／関係機関と連携・支援

有機農業

笹井 鹿児島地域有機農業技術支援センターは、21年度に国の補助を受けて三拾町の工業団地に研修施設を開設し、中津野に有機野菜種苗施設を設置した。

①研修施設で有機農業者の育成確保



▲（仮称）松原小学校の建設予定地

- ②種苗施設で有機農業者の需要に貢献
- ③土壌診断で有機農業者にデータ提供すること。始良市が行う連携・支援策を示せ。

市長 始良市は、新規就農者育成を目的に「新規就農者奨励金交付要綱」を制定して、始良市で就農する研修生の積極的な活用を目指す。

センターの要望には、関係機関と連携して支援する。

建昌小適正化 特別枠で審議せよ

教育長／松原小学校に限定

笹井 始良町で審議して一部移転すべきと答申があった。一部移転は特別枠で審議せよ。
教育長 始良市校区審議会は、松原小の建設に限定して審議し、12月には答申が出る予定である。

帖佐小学校

手洗い場・トイレの設置

教育長／公衆トイレ型を検討中



森 弘道議員

森 教室棟に手洗い場やトイレのない学校があり、大変不自由をしている。整備計画を立てて改善すべきと考える。整備計画を具体的に示せ。

教育長 学校とも協議をした結果、中庭の駐車スペースを利用した公衆トイレ型を、設置する方向で検討を進めている。

アイルアイラ、何か 打つ手はないか

市長／有利な方法で協議する

森 アイルアイラが八月末日で閉鎖した。市としても大きな損失である。市長はこの施設についてのどのように認識しているか、何か打つ手はないか。

市長 始良市にふさわしい施設であると認識している。地域における期待も大きく突然の閉鎖で非常に残念なことである。今後有利な方法で協議していく。

その他の質問

- 企業誘致・支援策
- 農道から市道へ格上げ整備
- 帖佐・山田地区公民館に洋式トイレ設置



▲手洗い場など整備が待たれる帖佐小

観光

大楠と観光振興

市長／観光客誘致につなげる



上村 親議員

上村 蒲生、武雄、藤崎台の大楠を巡り、写真と感想を募るラリーを行うが、事業内容と観光客の受け入れ態勢及び特産品は何か。
市長 3都市が大楠を活かした観光振興に、連携して取り組み、「デジタルラリー」や「ブログでスタンプラリー」を実施し、プレゼントとして蒲生の特産品、紅茶を考えている。
この企画を機会に、全国に知名度を高め、始良市の観光客誘致につなげていく。

部分林の分収歩合

市長／研究課題

上村 部分林の契約は45年以内だが、期間満了の部分林は何件あるか。分収歩合の見直しは考えな

いか。後継者についての考えは。

市長 契約期間満了の部分林は、767件です。分収歩合は、新市で見直しを行い、保安林は市1、造林者9、以外は市2、造林者8となっている。旧町分の歩合については、今後研究する。
後継者については、相続者の調査を行い対処する。



▲日本一の大楠で観光客を誘致



堂森忠夫議員

女性団員募集

市長／前向きに取り組む

消防団活動

堂森 再編で訓練や活動に支障ないか。団員の勤め先に協力と御礼文書を。女性消防団員の募集を図れ。
市長 再編分団の分団長を決定、その他の役職、詰め所や車庫も今と変わらない。活動等は計画書を方面隊ごとに作成する



▲スポーツ少年団の夜間練習（錦江小体育館）

ので、支障はないと考え

る。
団活動への協力企業には、消防団協力事業所表示制度の国の事業等を導入する。

志ある女性消防団員を広く募集するため、前向きに取り組む。

用時の電灯料を無料に。
教育長 学校施設使用料

条例で規定、市及び市の機関が使用する場合を除き、減免措置はない。

市として少年団の活動趣旨をふまえ、支援策を今後研究する。

その他の質問

○NPO法人と協働事業の取組み

○団地内側溝の排水溝清掃

スポーツ少年団の支援策

教育長／今後研究

堂森 スポーツ少年団の支援策として、体育館使



▲閉鎖中のアイルアイル

アイルアイル

対応は十分か

市長／必要に応じた支援



谷口義文議員

谷口 地域に親しまれてきた「旧サンピアあいら」が8月で閉館となった。行政の取り組み方、対応は十分だったのか。市長 宿泊のできる貴重な施設として、地域の皆

様方の寄せる思いも大きかったことは十分承知している。今後のことは、現在本社の方で検討中とのことである。本市も同様な営業形態での存続を強く要望し、必要に応じた支援を行っていく。

弓道場設置の陳情は

市長／十分検討する

谷口 始良市中央弓道場建設の陳情は、旧3町議会、新市でも採択された。今後の計画の進め方を問う。

市長 合併協議会で策定された新市まちづくり計画の「心豊かな生きがいのある人づくり、まちづくり」の基本方針にスポーツ施設の整備、維持管理を推進すると掲げている。今後、弓道場の整備については、始良市総合計画の中で、十分検討する。

その他の質問

- 移動市長室
- 児童・高齢者虐待

電灯使用料

経過の説明を

教育長／情報提供が不足



本村良治議員

本村 旧始良町でのスポーツ少年団の体育館電灯使用料の徴収の経過を説明せよ。教育長 新市の学校施設照明使用料の取り扱いの周知については、旧始良町の関係者の方々への情報提供が不足したことに關して遺憾に思っている。

支援策について今後研究していく。

下水道の取り扱い

市長／条例に基づき運営

本村 旧始良町の始良二ユータウンを含めた5、6の団地の下水道の扱いは、今後どうなるのか。市長 始良二ユータウンを移管する過程で整備し

その他の質問

- 障害者自立支援法

たいと考えている。移管後は、始良市地域下水道事業の設置等に関する条例に基づく運営形態とすることを想定している。



▲元気に頑張っている子どもたち（西始良小）

有機レポート

安心・安全な有機農産物は 有機JAS認証が必要

皆様は、有機農業をご存じですか。
有機農業は、除草剤・化学合成農薬・化学肥料などを使用しないで、米・野菜・果物などを生産します。

鹿児島県では、昭和59年に「かごしま有機生産組合」が発足し、安心・安全な食べ物を生産するようになりまし。なお、有機農産物と称して販売するには、登録認定機関の「有機JAS認証」を受けなければなりません。



▲真剣にメモをとる研修生

有機農家を育てる

【鹿児島有機農業技術支援センター】は、平成21年度に農林水産省が公募した全国初の有機農業をめざす人々を育てる施設です。

この事業に取り組み始めた「かごしま有機生産組合」の^{おおむね}大和田世志人組合長は、鹿児島県内で早くから有機農業に取り組み始良町に「鹿児島有機農業技術支援センター」を設置されました。

施設の概要

- ① 研修施設
三拾町工業団地内
- ② 育苗ハウス
中津野の豊留橋近く
- ③ 研修内容
 - ① 室内研修
 - ② 実践ほ場での実習（野菜）
- ④ 研修生受け入れ条件
 - ① 定数10人（入寮）

- ② 研修費用（月額）
 - 研修費3万円
 - 食生活費2万円
- ⑤ 応募資格
 - ① 18歳以上

一年間の研修を終えて、有機農業に就農する人は、農地の紹介、販売出荷先の確保などのサポートが受けられます。

始良町の若者よ来たれ！

始愛傘をめざす

始良町は、平成21年に5年先の有機農業推進計画をまとめました。

計画のシンボルは「始愛傘」です。生産者が消費者の健康を支える【生産者の有機百倍】

消費者が生産者の生産活動と経済を支える【消費者の元気百倍】

生産者と消費者相互の信頼関係に立脚した農業を目指して、鹿児島有機農業技術支援センターと始良市は、有機農業の普及に務めます。



▲将来の有機農業を担う研修生

循環型の有機農業は 生態系と人の暮らしを守ります

地球が熱い、たぎっている、と感じながら今年もまた暑い夏を過ごしました。

世界各国で局地的な豪雨や干ばつが頻繁に発生して、多くの被害が生じています。人が地球に優しい環境を保全する、などと言うことはおこがましいことではないでしょうか。私たち人間が実践

すべきことは、循環型の生活環境をつくり、守ることだと思えます。健康かな土が健全な作物を育て、人の健康を支えるでしょう。循環型の有機農業は、環境と生態系と人の暮らしを守ります。



新市への思い

瀬戸口 悟 加治木町上木田



議会を傍聴して

創刊号の「傍聴席から」の「以前と比べて、非常に良くなった」との記事

に誘われて、自転車を走らせた。

通告書には22人の議員の69事項の質問があり、傍聴したのは4議員13事項でその範囲では、執行部の答弁、議員の質問も的確で、市政発展への熱意を感じた。

質問通告の一部には、

委員会で質疑されたら、

もっと議論が深まり、より良い結論が出るのでは

と思つた。また、施政基本方針7項目に対する政策的議論がほしかった。

執行部答弁で、青少年

育成団体の把握が十分な

されていないことに、少し

淋しさを感じた。

施政7つの基本方針は

いづれも素晴らしく、実

現に大きな期待をする。

傍聴席へどうぞ

車いす席もあります

次回は11月下旬予定

うか。

(2) 別府川上流に、アユ

やテナガエビ、山太郎

ガニを多量放流し、地

域住民と協働して梁

(魚を獲るしかけ)に

よる観光振興は出来な

いだろうか。それには

道路の整備が必要と考

える。

(3) 新幹線開業まで残り

時間は少ない。海上バ

スの導入や、農業体験

による定住化の促進策

を計画し、すでに実施

している企業や団体

を見習い、さらに交流人

口の増加を図れないだ

ろうか。

おわりに

地域の問題を地域住民の力で推進しようと私共の地域では、小学校育成会が神社の掃除を、我々はホテルや桜の里作りで環境美化を推進している。議会と執行部の両輪が円滑に回転し、始良市が発展するよう一生懸命努力されることを期待する。

編集後記

焼けるような暑い夏が終わり、ようやく豊稷の季節を迎えました。瑞穂の国と言われる日本の四季が、この先どのように変わるのか、不安を感じます。

始良市が本格的に始動したのは5月です。7月に22年度予算が決まり、始良市民を乗せた旅客機は、離陸直後の状態です。行政と議会の運営は、3町間に違いがあり、戸惑いを感じつつ、「始良市はひとつ」をめざしています。

議会だより編集委員8人は、公平・公正の視点で情報伝達に努めますので、ご愛読下さい。

(笹井)

編集・発行責任者

議長 兼田 勝久

広報等調査特別委員会

委員長 河東 律子

副委員長 新福 愛子

委員 笹井 義一

委員 竹下日出志

委員 堂森 忠夫

委員 堀 広子

委員 桃木野幸一

委員 安田 久

おわびと訂正

8月31日発行議会だより2ページ「口蹄疫対策関連の補正」

・誤 5億4千万円

←

・正 5千4百万円

おわびして訂正します。